

計算条件: 最高水面(零位)

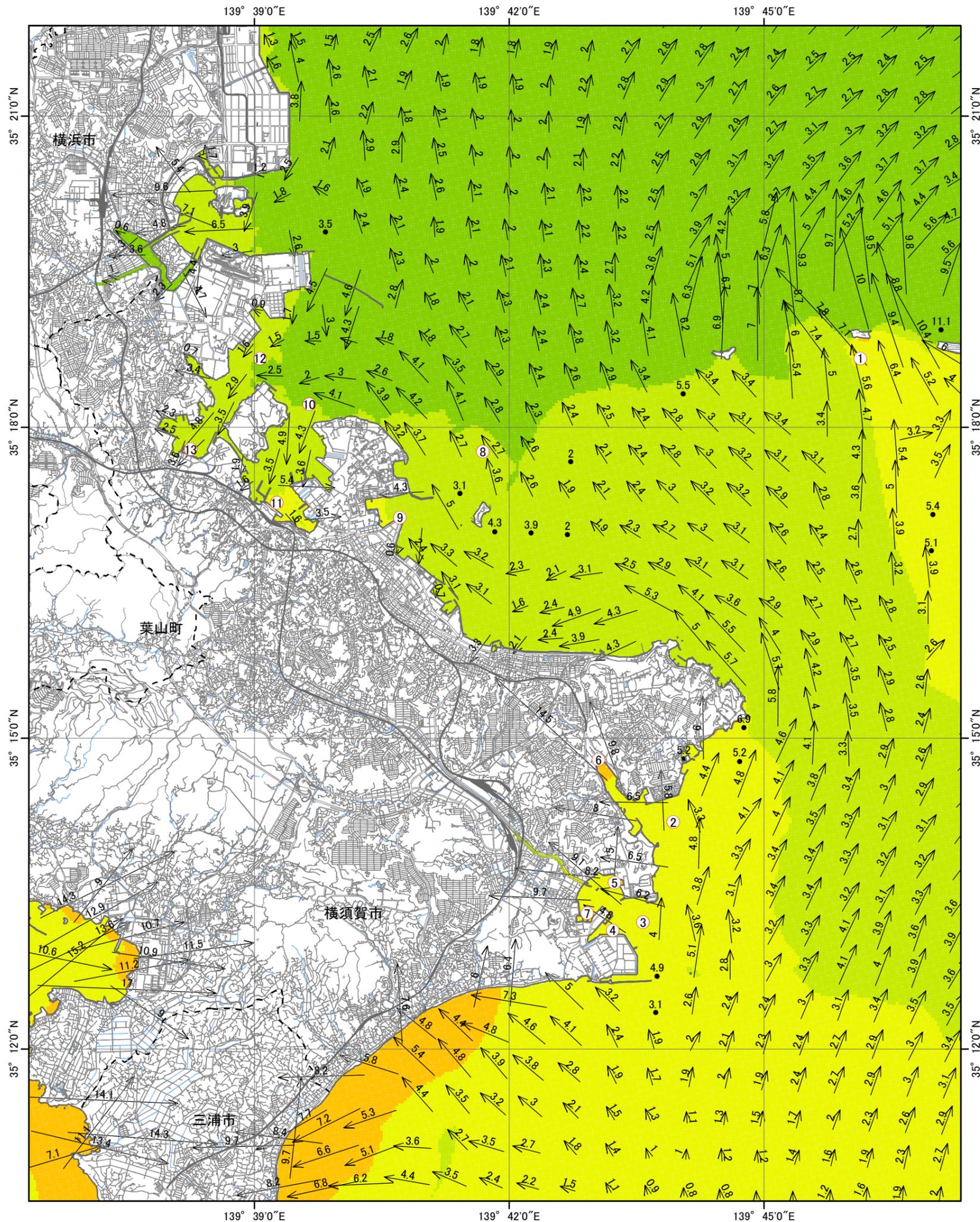
隆起量: 平均 0.63m(-0.02m ~ 1.56m)

Zo: 1.00~1.15m

備考: 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



座標系:メルカトル図法  
測地系:世界測地系(WGS84)



凡例

最大水位上昇

- 5~最大9.5m
- 3~5m
- 2~3m
- 0.5~2m
- 0.5未満

経時変化図出力点

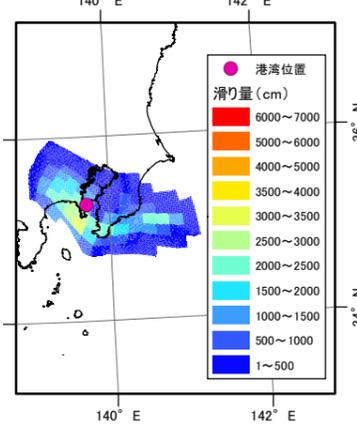
(図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)

進入時最大流 [knot]

- 6 knot
- 4 knot
- 2 knot

- 当海域は到達時間が複雑なため等時線は描画しない。  
到達時間については、経時変化図及びアニメーションを参照されたい。
- 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。
- 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な海域では、流速のみを表示した。

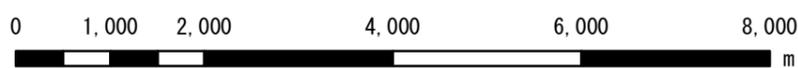
断層モデル



元禄関東地震

モーメントマグニチュード Mw	8.5
-----------------	-----

本断層モデルは、内閣府の「首都直下地震モデル検討会(平成25年12月19日発表)」により公表されたものである。



○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム(ArcGIS 10 対応)」を使用した。  
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。  
 ・海上保安庁が保有する水深データ  
 ・基礎地図情報5mメッシュ(標高)・10mメッシュ(標高)、及び基礎地図情報(国土地理院発行 国土地理院長承認 承認番号 平31情使、第30号 平成31年4月5日)